

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年12月26日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年12月26日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

| 番号 | 不適合内容 | グレード | 発見日 |
|----|---|-------|--------|
| 1 | 【既設多核種除去設備(B)クロスフローフィルター流量調整弁からの漏えいについて】 既設多核種除去設備(B)の堰内に水たまりがあり、前処理設備であるクロスフローフィルター流量調整弁後弁のグラウンド部から水が漏えいしていることを協力企業作業員が発見。 漏えいした水は既設多核種除去設備の系統水であり、当該出口弁の増し締めを行い、漏えいが停止したことを確認。また、床面の水たまりについては拭き取りを実施済み。 今後、原因調査および対策を実施予定。 | G II | 12月23日 |
| 2 | 【車両ドアに左手指を挟んだ負傷について】 車両の助手席側後部座席のスライドドアを車外から閉めた際、ピラー部においた自らの左手指をスライドドアで挟み負傷。 救急医療室にて左手第3・4指挫創と診断および処置を実施。 | G III | 12月24日 |